

Song Review 7 #Strange Fruit

『#Strange Fruit ((奇妙な果実))』(作詞・作曲：アベル・ミーアポル、1939年)を取り上げる。ビリー・ホリデイが歌った、米国の人種差別を告発する非常に象徴的な楽曲である。この「strange fruit (奇妙な果実)」とは、リンチによって木に吊るされた黒人の遺体を暗喩している。歌詞全体は、南部の牧歌的な風景と、そこに吊るされた死体の腐敗した描写が対比され、強烈なイメージで人種差別の暴力性を訴えている。

Southern trees bear a strange fruit
Blood on the leaves and blood at the root
Black bodies swinging in the Southern breeze
Strange fruit hanging from the poplar trees
(南部の木々は奇妙な果実をつける
葉にも根にも血が滴る
黒い体が南部のそよ風に揺れる
ポプラの木々にぶら下がる奇妙な果実)

当時の米国南部：

黒人に対するリンチは日常的に行われており、法的な保護もほとんどなし。黒人の虐殺が日常茶飯事であったこの当時、それを告発する歌を黒人女性が歌うのはあまりにも危険なことであった。

本曲は、米国の公民権運動の象徴的な楽曲となり、後にニーナ・シモンやジェフ・バックリィなど多くのアーティストにカバーされた。2002年にはアメリカ議会図書館の「全米録音資料登録簿」に選ばれ、文化的・歴史的に重要な作品と認定されている。

人種差別を中止に追い込んだ曲と有名なのは、The Special AKA が1984年に発表された(Free) Nelson Mandela だ。スカとポップを融合した明るい曲調ながら、強い政治的メッセージを持つ。

U2 がマンデラの人生と愛に捧げたバラード（アカデミー賞にもノミネート）が映画『マンデラ 自由への長い道』に使われ、アパルトヘイト撤廃に貢献した。

評価：★★★★★